

第4次安倍内閣の発足について（会長談話）

本日、安倍晋三総理大臣を首班とする第4次安倍内閣が発足しました。

現在、日本は人口減少・少子高齢化をはじめとする数々の困難に直面しており、それらを着実に乗り越えていくには、国と地方が一体となって、あらゆる世代が活躍できる社会を実現していかなければなりません。政策の主な柱に掲げられている「児童教育無償化」や「保育の受け皿整備」、「介護人材の確保」は、これまで指定都市市長会が主張してきたものです。今後、政策パッケージを取りまとめるに当たり、実情をよく知る地方、とりわけ圏域の中核都市である指定都市の声を反映し、より実効性のある施策を展開していただきたいと思います。

また、国が各種政策を展開していくうえでは、それらが地域に浸透し、確実に実行されていくことが必要です。そのためにも、引き続き「地方創生」の取組に重点を置いていただきたいと考えます。東京一極集中を是正し、活力ある元気な地方をつくること、そして、それぞれの地方自治体が自主的・自律的な取組を進めることが日本全体の再生に向けた道筋になります。

安倍内閣が地方創生に関する政策を加速して進められるよう、指定都市市長会として強く要望します。

指定都市市長会は、政府とともに、日本の将来にわたる成長を実現していくため、日本全体をけん引する成長エンジンとして、これからも全力で取り組んでまいります。

平成29年11月1日
指定都市市長会会長

林 文子